

## 社会 株主・投資家との建設的な対話

### 基本的な考え方

持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を実現するためには、株主・投資家の皆さまの理解が不可欠であると考えています。株主・投資家の皆さまに当社の経営方針をわかりやすく説明し、建設的な対話を行い、長期的な信頼関係の構築に努めます。

### 株主・投資家との建設的な対話

#### ○ 対話促進に向けた体制

株主・投資家との建設的な対話においては、経営管理部門（IR・広報室、総合企画部、財務部、総務部）の担当役員が総括し、社長・当該役員・当該経営管理部門が決算説明会をはじめとしたさまざまな機会を通じた積極的な対応に努めています。

対話の充実に向け、IR担当者は各テーマの担当部署と連携し、開示資料の作成や必要情報の共有などを全社的に進めているほか、月1回の広報連絡会にて、各部署との連携や情報共有を図っています。また、ホームページに株主・投資家専用ページを設け、経営方針、業績などの開示情報をわかりやすくご紹介しています。

対話を通じて得られたご意見などは、会議体での報告やレポートの配布などにより、取締役・経営陣及び関連部門に報告し、情報の共有を図っています。

#### ○ 株主・投資家との対話機会

##### 〈2019年度の主な取り組み〉

- 四半期ごとの役員による決算説明会\*
- 個別ミーティング
- 個人投資家向け説明会・個人株主向け見学会
- 機関投資家向け施設見学会（井関松山製造所、夢ある農業総合研究所）
- 関連資料の開示（要旨付き決算関連資料の掲載、説明会時の質疑応答の開示、英文資料の掲載など）

\* 2020年度より、第1・3四半期は、電話会議形式による決算説明会を予定しています。

#### 個人株主向け見学会の開催

2019年11月に当社グループのマザー工場である井関松山製造所にて個人株主向け見学会を開催しました。当日は、当社社長による事業概要や成長戦略の説明のほか、工場見学やISEKI Dream Galleryなどをご見学いただきました。ご参加いただいた株主の皆さまとの意見交換や頂戴したアンケートでは、「井関農機のものづくりへの姿勢や取り組みが良かった」、「製造や技能工教育の現場を見学でき有意義であった」、「工場内の5S（整理、整頓、製造、清潔、躰）が行き届いていた」などのご意見やご感想をいただきました。今後も、見学会や情報発信を充実させるなど建設的な対話を行い、長期的な信頼関係の構築に努めていきます。



社長による説明



工場見学